

会派名 新政会 支出調書

代表者 廣田	経理責任者 金田	起案者 共通 廣田
-----------	-------------	--------------

区分	事由	費目金額				小計	
1	調査研究費 令和2年1月16日 東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム 角館交流センター	交通費		旅費	174,300	自動車燃料費	174,300
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	共通	支出年月日	2020年 1月 14日	現金出納簿 支出番号	/	合計	174,300 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 1

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 栗原 晃 

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	174,300円（1人あたり 34,860円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム	
用務先	角館交流センター	
内容	視察 13:00~14:30	
	サミット 15:00~16:45	
	シンポジウム 17:00~19:00	
期間	2020年1月16日 ~ 2020年1月16日（泊1日）	
行程	別紙行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・三瓶宗盛	・
	・福田文子	・
	・會田一男	・
	・良田金次郎	・
	・栗原 晃（代表者）	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。					
会派会長	経理責任者			受理日	2020年1月14日
				許可日	2020年1月14日
				支出日	2020年1月14日

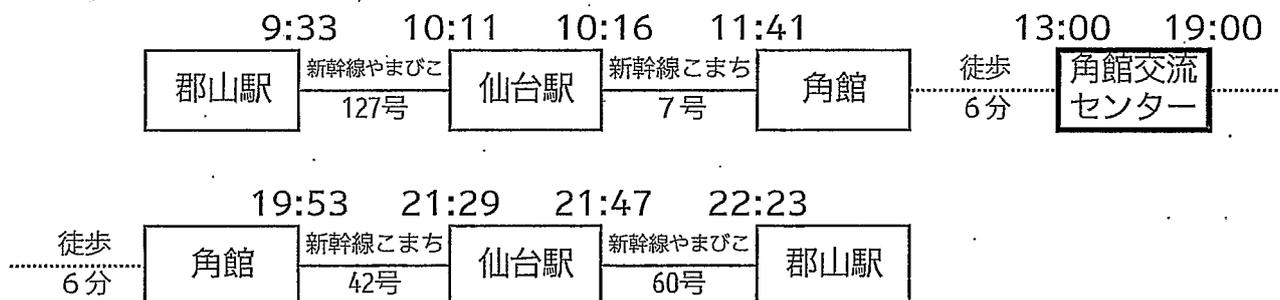
上記金額を受領しました。			
2020年1月14日	申請代表者氏名	栗原 晃	

令和元年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 令和2年1月16日(木)

東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム



2 人員 5人

三瓶 宗盛 議員
福田 文子 議員
會田 一男 議員
良田 金次郎 議員
栗原 晃 議員

3 調査内容

東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム

- ・視察 13:00~14:30
- ・サミット 15:00~16:45
- ・シンポジウム 17:00~19:00

4 事務局連絡先・会場

仙北市地方創生・総合戦略室
〒014-1201
秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30
電話 0187-43-3315
FAX 0187-43-1300

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 三瓶 宗盛、福田 文子、會田 一男、良田 金次郎、栗原 晃
 日程 : 令和2年1月16日
 行先 : 角館交流センター (秋田県仙北市角館町中菅沢77-30)

1月16日	郡山駅	新幹線 125.1	仙台駅	新幹線 242.3	角館駅	新幹線 242.3	仙台駅	新幹線 125.1	郡山駅									
運賃	6,380		6,380														12,760	
急行料金	9,550		9,550														19,100	
席種	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン													0	
実費																	0	

運賃																	0	
急行料金																	0	
席種																	0	
実費																	0	

交通費 31,860 31,860
 日当 3,000 × 1日 = 3,000
 合計 34,860 円 × 5名 = 174,300 円



東北SDGs未来都市サミット シンポジウム in 仙北市

日時：2020年1月16日(木) 17:00-19:00

会場：角館交流センター（秋田県仙北市角館町中菅沢77-30）

対象：持続可能な地域づくりに関心がある方、SDGsを学びたい方

入場
無料

東北地方の5都市の連携による「東北SDGs未来都市サミット」。昨年度の東松島市に続き、2回目となる今年度は、仙北市でシンポジウムを開催します。各都市の首長を迎え、パネルディスカッションや基調講演を通して、持続可能な地域づくりとは何か、一緒に考えてみませんか？

「誰一人取り残さない」をキーワードにした世界共通の目標SDGsを達成するために、私たちができることはたくさんあります！



陸前高田市
戸羽 太



東松島市長
渥美 巖



仙北市長
門脇 光浩



飯豊町長
後藤 幸平

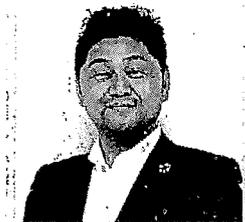


郡山市長
品川 万里



基調講演 『世界を変える準備はいいか？～SDGsによる地域活性化～』
久米川 華穂 さん 日本青年会議所 少年少女国連大使

秋田県大仙市立平和中学校2年生。2019年7～8月、スイス（ジュネーブ）の国連欧州本部やスウェーデンを訪問し、10日間の研修を通して最先端のSDGsに触れる。帰国後、地元秋田で彼女なりのSDGsに積極的に取り組み、独自の視点で普及活動に尽力している。



基調講演 『SDGsカードゲームに学ぶ持続可能な地域づくりについて』
今田 裕美 氏 「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター

株式会社CSRインテグレーション 代表取締役。山形県在住。SDGsを「すべての人や組織が持続的に成長・発展していくためのツール」と捉え、企業や自治体の社会課題の解決をサポートしている。英国CMI認定サステナビリティCSRプラクティショナー。

【主催】東北SDGs未来都市サミット

（岩手県陸前高田市、宮城県東松島市、秋田県仙北市、山形県飯豊町、福島県郡山市）

【問合せ/申込先】仙北市 地方創生・総合戦略室（秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30）

☎ 0187-43-3315 FAX 0187-43-1300 E-Mail sousei@city.semboku.akita.jp

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 1

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・三瓶宗盛		・	印
・福田文子		・	印
・會田一男		・	印
・良田金次郎		・	印
・栗原 晃（代表者）		・	印
・	印	・	印

記

期 間	2020年 1月16日 ～ 2020年 1月 16日（泊 1日）					
目 的	東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム					
						
用 務 先	角館交流センター					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	視察 13:00～14:30、 サミット 15:00～16:45、					
	シンポジウム 17:00～19:00					
旅 費 精 算	受領額	174,300円	精算額	174,300円	返納額	0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	2020年1月17日
			確 認 日	2020年1月17日
			精 算 日	2020年1月17日

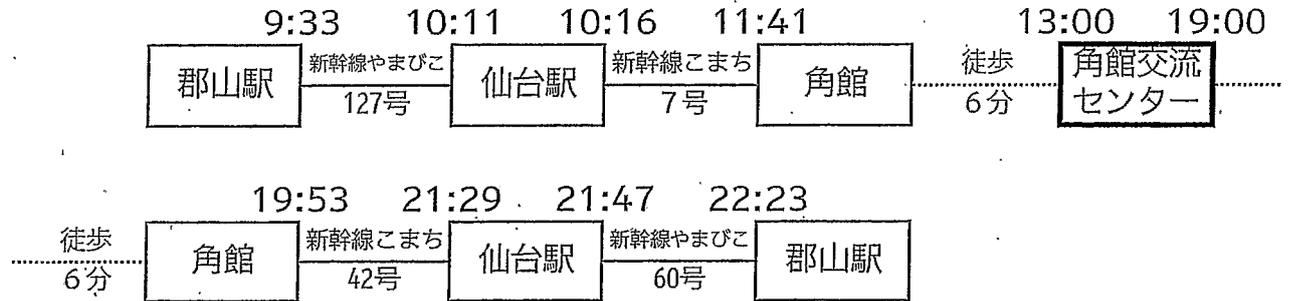
※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

令和元年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 令和2年1月16日 (木)

東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム



2 人員 5人

三瓶 宗盛 議員
 福田 文子 議員
 會田 一男 議員
 良田 金次郎 議員
 栗原 晃 議員

3 調査内容

東北SDGs未来都市サミット・シンポジウム
 ・視察 13:00~14:30
 ・サミット 15:00~16:45
 ・シンポジウム 17:00~19:00

4 事務局連絡先・会場

仙北市地方創生・総合戦略室
 〒014-1201
 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30
 電話 0187-43-3315
 FAX 0187-43-1300

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 三瓶 宗盛、福田 文子、會田 一男、良田 金次郎、栗原 晃
 日程 : 令和2年1月16日
 行先 : 角館交流センター (秋田県仙北市角館町中菅沢77-30)

1月16日

	郡山駅	新幹線 125.1	仙台駅	新幹線 242.3	角館駅	新幹線 242.3	仙台駅	新幹線 125.1	郡山駅					
運賃		6,380		6,380										12,760
急行料金		9,550		9,550										19,100
席種		グリーン	グリーン	グリーン	グリーン									0
実費														0

運賃														0
急行料金														0
席種														0
実費														0

交通費	31,860	31,860	
日当	3,000 ×	1日 = 3,000	
合計		34,860 円	× 5名 = 174,300 円

第2回 東北SDGs未来都市サミット

日時 令和2年1月16日(木)
15時00分～16時30分
場所 仙北市角館交流センター

次 第

- 1 挨拶 仙北市長
- 2 SDGsに関する各都市の取組
 - ・仙北市
 - ・陸前高田市
 - ・東松島市
 - ・飯豊町
 - ・郡山市
- 3 東北SDGs未来都市サミット宣言について
- 4 気候非常事態宣言について
 - ・郡山市(提案都市)
- 5 署名
- 6 次回の開催都市について
- 7 その他

<配布資料>

- ・資料1 各都市の概要
- ・資料2 各都市のSDGsの取組
- ・資料3 気候非常事態宣言について(郡山市提案)
- ・資料4 気候非常事態宣言文(案)
- ・資料5 東北SDGs未来都市サミット宣言文(案)

東北 SDGs 未来都市サミット・シンポジウム in 仙北市

開催概要

【参加自治体】

陸前高田市、東松島市、飯豊町、郡山市、仙北市

【目的】

SDGs 未来都市の選定を受けた東北の自治体が連携を密にし、各都市の取組について情報交換することによって、都市連携の相乗効果を生み出すとともに、SDGs の普及啓発の機会とする。

また、全国の自治体連携のモデルとして、東北から SDGs を推進・発信し、持続可能なまちづくりを加速化することを目的とする。

【概要】

- ✓ 各首長および事務担当者等による情報交換の場（サミット）を開催し、各都市の取組を紹介、各首長による今後の方針等についての発言の場を設け、意見交換する。
- ✓ 一般公開のシンポジウムを開催し、各都市の取組の紹介等、市民等に対して SDGs の普及啓発を図る。
- ✓ サミット・シンポジウムは、各都市持ち回りで開催する。開催都市がその回のサミットの運営母体として内容を企画し、他都市の意見を踏まえて実施する。実施に当たっては、開催都市の創意工夫を尊重することとし、他のイベントとの同時開催を可とする。
- ✓ 主催は、「東北 SDGs 未来都市サミット」とし、告知媒体には参加自治体名を明記する。なお、開催通知などの事務文書の発出に当たっては、開催都市の首長名による発出を基本とし、内容に応じて各都市単位での発出または参加自治体連名による発出を可能とする。
- ✓ サミット・シンポジウム開催に向けた打合せや情報共有の場として、必要に応じて担当者レベルの連絡会議を開く。

【開催日】令和2年1月16日（木）

【場所】角館交流センター

（〒014-0368 秋田県仙北市角館町中菅沢 77-30 電話 0187-54-1003）

東北SDGs未来都市サミット宣言文

私たち、岩手県陸前高田市、宮城県東松島市、秋田県仙北市、山形県飯豊町、福島県郡山市の5都市は、東北地方から選定されたSDGs未来都市として、その理念の普及を広く図るとともに、経済・社会・環境の3つの側面を統合的に調和することの重要性を認識しながら、地域課題を先導的に解決し、様々な取組を発信していきます。

そして、東北から日本を盛り上げ、地方創生を図り、住み続けられるまちづくりに向け、緊密に連携することをここに宣言します。

1. 私たちは、持続発展可能な社会の実現に向け、情報を共有しながら、SDGsの達成に努めます。
2. 私たちは、SDGsの理解・普及と実践に努め、様々な主体とパートナーシップを図ります。
3. 私たちは、SDGsを行政運営に取り入れ、地域を活性化し、誇るべきまちを将来の世代に継承します。

2020年1月16日

岩手県陸前高田市長

宮城県東松島市長

秋田県仙北市長

山形県飯豊町長

福島県郡山市長



「気候非常事態宣言」の提案について

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

■ 要旨

- ・長崎県杵岐市が、2019年9月に国内初の「気候非常事態宣言」を行う。
- ・SDGs 未来都市に選定されている全国60自治体の他、日本政府や地方自治体に、「気候非常事態宣言」について連携を呼びかける。

(2019.11.26 毎日新聞より)

「気候非常事態宣言都市」

- ・地球温暖化などの気候変動を人類にとっての「非常事態」として、具体的な対策に取り組むことを宣言
- ・欧州を中心に広がり、23か国の1,000を超える自治体や各地の大学が宣言している。
- ・杵岐市の他、神奈川県鎌倉市議会が2019年10月に「気候非常事態宣言」を決議

■ 杵岐市の宣言概要 ～気候非常事態宣言より～

①市民に対して、4Rの周知啓発に努める。

特に、海洋汚染の原因となるプラスチックごみについて、4Rの徹底に取り組む。

4R=Reduce (ごみの排出抑制)

Reuse (再利用)

Recycle (再資源化)

Refuse (ごみの発生回避)

②2050年までに市内で利用するエネルギーを再生可能エネルギーに完全移行

③森林の適正な管理により、温室効果ガスの排出抑制に取り組むとともに、森林、里山、河川、海の良い自然環境の実現を目指す。

④日本政府や地方自治体に、「気候非常事態宣言」についての連携を呼びかける。

■ 「気候非常事態宣言」の提案について

郡山市では、昨年10月の台風第19号により市内各所に甚大な被害が発生し、SDGsの目

標(ゴール)13「気候変動に具体的な対策を」の重要性を一層深く認識したところである。

近年の自然災害は激甚化しており、もはや、社会システムをはじめ、法制・税制・財政等全て

の制度設計を「気候変動対応型」に変更する必要がある。

東北 SDGs 未来都市サミット

気候非常事態宣言

近年、我が国を含め全世界で様々な異常気象が観測されており、WMO(世界気象機関)は、一連の異常気象は、温室効果ガスの増加による長期的な地球温暖化傾向と関係していることを示しています。また、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、温室効果ガスの増加には、私たちの生活や生産活動が大きく関与していることを報告しています。

このような現状に鑑み、私たち、岩手県陸前高田市、宮城県東松島市、秋田県仙北市、山形県飯豊町、福島県郡山市は、近年の異常気象が脅威であることを認識し、東北地方から選定された SDGs 未来都市における持続可能なまちづくりの一環として、相互に連携し、次の活動を含めた対策を講じることをここに宣言します。

1. ごみの排出抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)、ごみの発生回避(リフューズ)を徹底します。
2. 省エネルギーの推進と併せて、再生可能エネルギーの利用を促進します。
3. 人や社会・環境に配慮した消費行動(エシカル消費)の普及を図ります。
4. 各都市の環境、課題に応じて、地球温暖化防止に資する取組を推進します。

2020年1月16日

岩手県陸前高田市市長

宮城県東松島市長

秋田県仙北市市長

山形県飯豊町長

福島県郡山市市長

国家戦略特区・地方創生特区政令指定



市長 阿部あきよし

〒014-1298 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30

TEL 0187-43-1111 / FAX 0187-43-1300

URL <http://www.kadosan.com/>

E-mail [redacted]



ふるさと納税はこちらから →



the most beautiful villages in japan

山形県飯豊町長

後藤 幸平

Kohei Goto

〒999-0696

山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888

電話 0238-72-2111(代) Fax 0238-72-3827

URL:<http://www.town.iide.yamagata.jp>



宮城県 東松島市 総務部

地方創生担当部長

兼 地方創生・SDGs 推進室長



高橋 諒太

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸 36 番地 1

TEL: 0225-82-1111 (内線 1239)

FAX: 0225-82-8143

E-mail: [redacted]



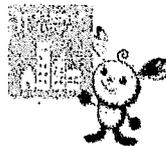
宮城県東松島市総務部

地方創生・SDGs 推進室

次長 永野 慎一

Nagano

Shinichi



〒981-0503

宮城県東松島市矢本字上河戸 36 番地 1

TEL:0225-82-1111 (代) (内線 1239) FAX:0225-82-8143

URL: <http://www.city.hlgashimatsushima.miyagi.jp>

E-mail: [redacted]



秋田県仙北市

副市長 倉橋典夫

〒014-1298 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30
TEL: 0187-43-1111 / FAX: 0187-43-1300
E-mail: [redacted]



宮城県

東松島市議会

議長 大橋博之

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸 36 番地 1
TEL: 0225-82-1111 (内線 1239)
FAX: 0225-82-8143



宮城県

東松島市議会

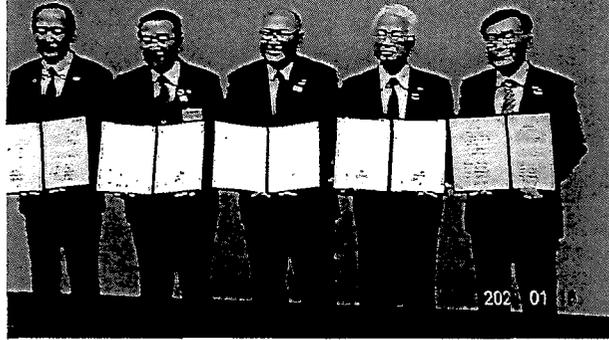
副議長 小野 恵章

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸 36 番地 1
TEL: 0225-82-1111 (内線 1239)
FAX: 0225-82-8143



角倉官本華糸田工伝承会館

東北SDGs未来都市サミツ



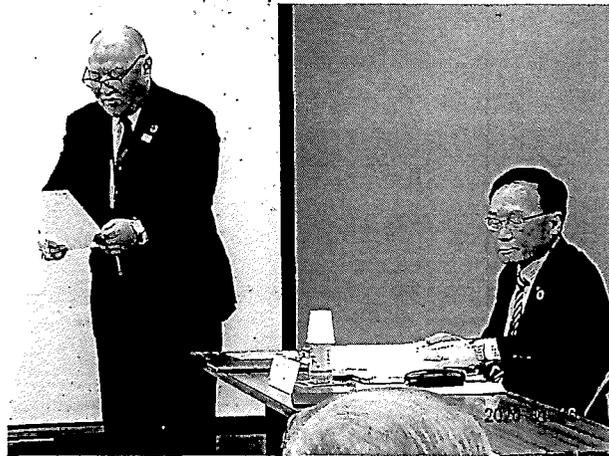
サミット



シンポジウム



新溲月社記念文学会館



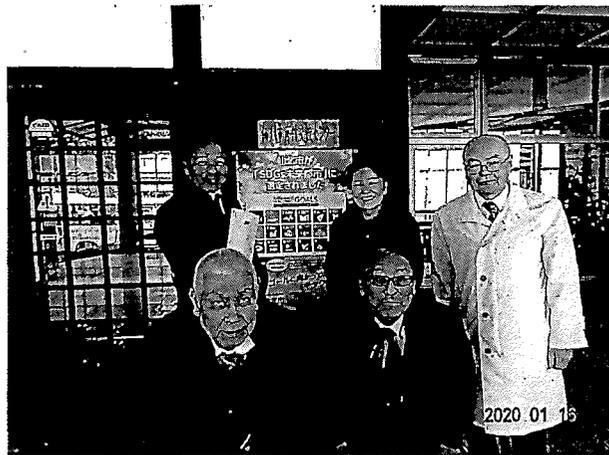
サミット



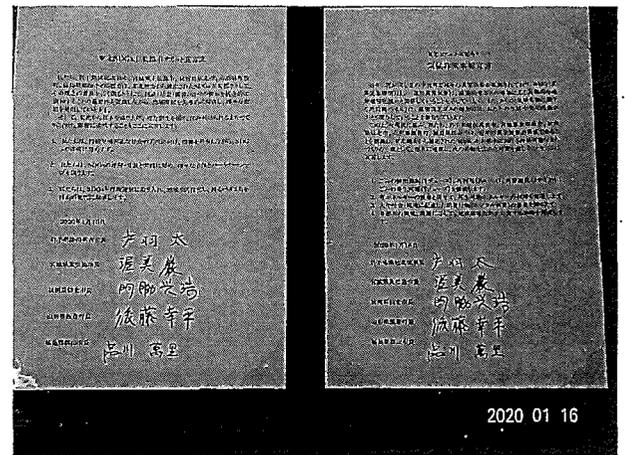
シンポジウム



シンポジウム



角倉宮交流センター入口にて



宣言文

第2回 東北SDGs未来都市サミット

令和2年1月16日(木)

午後3時00分～午後4時30分

秋田県仙北市角館交流センター

報告者 福田 文子

午後1時00分～ 角館市内視察見学(仙北市内)

角館外町(そとまち)文学に触れる。

新潮社記念文学館の見学

フェアブル昆虫記を訳した椎名其二(しいな そのじ)展

とても静かな町内の建物に椎名其二(しいな そのじ)の生涯を略年譜に代えて

1887年(明治20年)～1962年(昭和37年)74歳までを企画展示。

椎名其二書簡、ハガキ類、昆虫標本他

午後3時00分～ 東北SDGs未来都市サミット(角館交流センター)

各都市の取り組み

○ 仙北市

平成17年、田沢湖町・角館町・西木村が市町村合併で誕生。

人口25,857人(10,584世帯)

ゲストによる講演やシンポジウム、パネルディスカッションや吉本興業のお笑い芸人さん

などによるライブやPR動画の取り組み

○ 陸前高田市

行政のみでは出来ないと考え、東京の企業や多様な主体との連携をはかる。

・木質バイオマスなど再生可能エネルギーの活用促進

・ジェンダーを参画と男女の共生や社会弱者という言葉の要らない市にしていきたい。

・法政大学とのSDGs協定締結

○ 東松島市

人口39,775人(東日本大震災前人口43,142人)

1,110人の死者を出し、心の復興を心掛ける

★ 全世帯に住みよいまちづくり

★ 地方創生・人口減少対策

・私立高校の誘致(全寮制)

・子育て支援環境の充実(午後8時まで延長保育)

・通年観光(トレッキングコース 4km)

・健康を考えたパークゴルフの開設(54ホール)

・普及啓発活動

○ 飯豊町

人口7,000人

- ① 環境を大切に電池バレー構想を推進している。
- ② 再生可能エネルギーの導入
 - ・木質バイオマス利活用
 - ・家畜排せつ物等のバイオガス利用
 - ・家畜排せつ物等の堆肥化
 - ・その他再生可能エネルギー活用
- ③ 農村計画研究所の再興と農山村の価値を見直すキーワードは、日本人が共通して持っている「相手を想う心」を大切にしていく。

○ 郡山市

- ① 健康に取り組む背景＝健康寿命を伸ばす。
自助はもとより互助・共助で支える側に
- ② こおりやま広域圏とともに進める
- ③ SDGsの理解・普及・実践に関する取り組み
- ④ 気候変動対応型SDGs未来都市の実現に向けて

～シンポジウム～

各都市の代表より取り組みを映像・資料をまじえ発表後、(仙北市内団体、各都市関係者参加)サミット宣言と気候非常事態宣言について署名、確認

○人口減少対策

○地産地消

○3010運動(食品ロス)

○貧困をなくす最初の世代であり、地球を救う最後の世代

○できることは何なのか？そして大きく一歩を踏み出す力をみんなでひとつに
まとめて行きたい。

以上

会派名 新政会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通 

区分	事由	費目金額				小計	
1	調査研究費 令和2年1月31日～令和2年2月1日 東北24研究会 青森市役所	交通費		旅費	110,680	自動車燃料費 振込料	110,680
		資料作成費		調査委託費			
2	研修費	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	共通 	支出年月日	2020年 1月 29日	現金出納簿 支出番号	2	合計	110,680 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 2

会派会長様

申請代表者氏名 栗原 晃



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	110,680円（1人あたり 55,340円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	東北24研究会	
用務先	青森市役所	
内容	令和2年1月31日 ○国の防災減災対策について ○台風19号等の災害について ○各地域の特徴的な災害について	
期間	令和2年2月1日 ○青森市中央市街地活性化事業 ワ・ラッセ、アウガ	
行程	2020年1月31日 ～ 2020年2月1日（1泊2日）	
出張（調査等）者氏名	・栗原 晃（代表者） ・良田金次郎	・ ・ ・ ・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	2020年1月29日
			許可日	2020年1月29日
			支出日	2020年1月29日

上記金額を受領しました。

2020年1月29日

申請代表者氏名

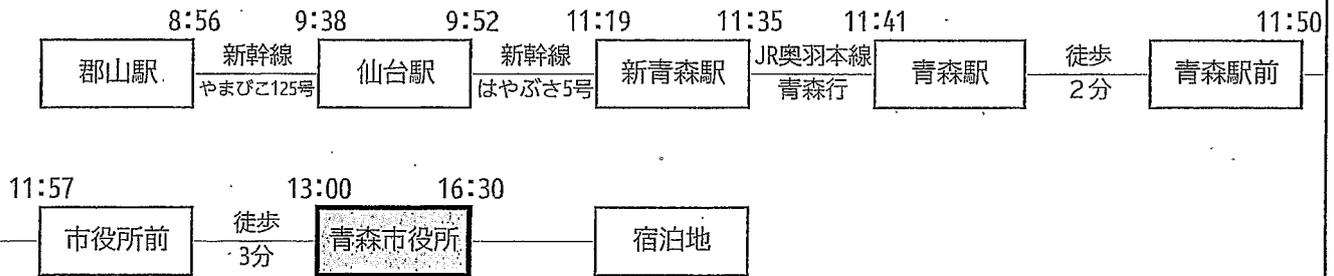
栗原 晃



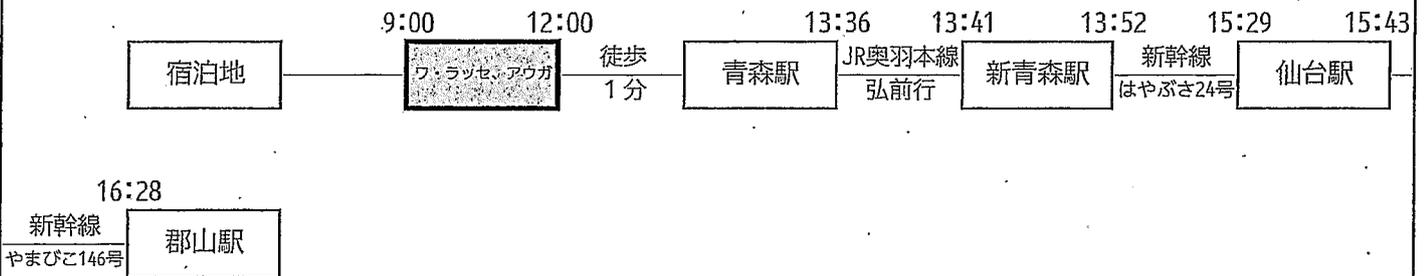
令和元年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：1月31日（金）



□ 2日目：2月1日（土）



2 人員 2名

栗原 晃 議員
良田 金次郎 議員

3 視察内容

- 1 令和2年1月31日（金）
【東北24研究会】
○国の防災減災対策について
○台風19号等の災害について
○各地域の特徴的な災害について
- 2 令和2年2月1日（土）
【東北24研究会】
○青森市中央市街地活性化事業、
ワ・ラッセ、アウガ

4 事務局連絡先・会場

- 【事務局】東北24研究会青森市議会世話人
青森市議会議員 木戸 喜美男
青森県青森市中央一丁目22-5
TEL 017-734-5741
- 【会場】青森市役所
青森県青森市中央一丁目22-5
ワ・ラッセ
青森県青森市安方1-1-1
アウガ
青森県青森市新町1-3-7

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 栗原 晃、良田 金次郎
 日程 : 令和2年1月31日(金)～2月1日(土)
 行先 : 青森市役所(青森県青森市中央一丁目22-5)

1月31日	郡山駅	新幹線 125.1	仙台駅	新幹線 361.9	新青森駅	奥羽本線 3.9	青森駅													
運賃	8,030																		8,030	
急行料金	9,240																		9,240	
席種	グリーン	グリーン																		0
実費																				0

2月1日	青森駅	JR奥羽本線 3.9	新青森駅	新幹線 361.9	仙台駅	新幹線 125.1	郡山駅													
運賃	8,030																		8,030	
急行料金	9,240																		9,240	
席種			グリーン	グリーン																0
実費																				0

交通費	34,540		34,540
日当	3,000 ×	2日 =	6,000
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計			55,340 円

× 2名 = 110,680 円

令和元年12月10日

東北24研究会世話人各位

東北24研究会青森市議会世話人

青森市議会議員 木戸 喜美男

東北24研究会令和元年度第1回研修会の開催について

拝啓 寒さが厳しさを増していますが、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

台風等の大規模災害により被害に見舞われました自治体の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、各自治体からの要請により、今研修会は防災を中心テーマとして、下記要綱にて東北24研究会令和元年度第1回研修会を開催します。

1. 日 時 令和2年1月31日(金) 13時30分～
2月 1日(土) 12時まで

2. 場 所 青森市議会委員会室 など(調整中)

3. 参加者 東北24研究会会員、青森市等

4. 実施概要

【1月31日(金)】

1) 世話人の打ち合わせ 13時～

2) 研修会次第 13時30分～15時20分

(1) 歓迎挨拶

小野寺 晃彦 青森市長 長谷川 省悦 青森市議会議長挨拶

(2) 内容

①国の防災減災対策について 国土交通省東北地方整備局(予定)

②台風19号等の災害について

被害状況、現状報告及び今後の対応について

③各地域の特徴的な災害について

青森市における雪害対策について (都市整備部) 15分位

(雪による被害状況及び雪対策)

(3) 意見交換会

5. 施設見学 15時30分 ～16時30分 雪処理施設の見学

6. 意見交換会 18時 ～20時頃 (場所 未定)

【2月1日(土)】

9～12時 行政視察(青森市中心市街地活性化事業の現在) ※希望者のみ
ワラッセ、駅前庁舎(アウガ)

7. 管理事項

(1) 参加費 : 2千円

(2) 移動宿泊 : 各自でご予約

(3) 懇談会 : 会費5,000円程度で予定

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 乙

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・栗原 晃 (代表者)		・	印
・良田金次郎		・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	2020年 1月 31日 ~ 2020年 2月 1日 (1泊 2日)					
目 的	東北 24 研究会					
用 務 先	青森市役所					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	令和 2 年 1 月 31 日、○国の防災減災対策について ○台風 19 号の災害について ○各地域の特徴的な災害について					
	令和 2 年 2 月 1 日、○青森市中央市街地活性化事業 ワ・ラッセ、アウガ					
旅 費 精 算	受領額	110,680 円	精算額	110,680 円	返納額	0 円

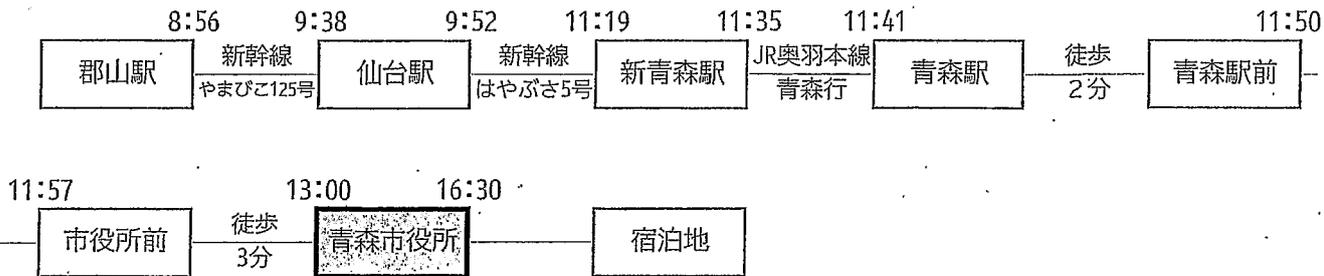
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	2020年 2月 3日
				確 認 日	2020年 2月 3日
				精 算 日	2020年 2月 3日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

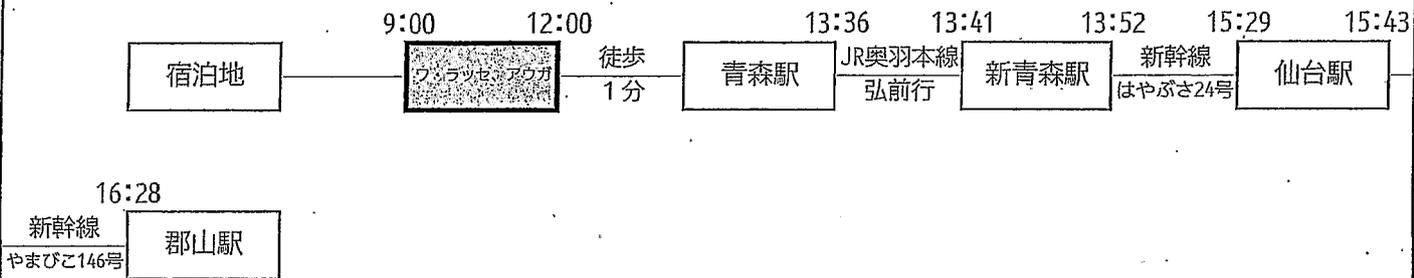
令和元年度 新政会 行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：1月31日（金）



□ 2日目：2月1日（土）



2 人員 2名

栗原 晃 議員
 良田 金次郎 議員

3 視察内容

- 1 令和2年1月31日（金）
【東北24研究会】
 ○国の防災減災対策について
 ○台風19号等の災害について
 ○各地域の特徴的な災害について
- 2 令和2年2月1日（土）
【東北24研究会】
 ○青森市中央市街地活性化事業、
 ワ・ラッセ、アウガ

4 事務局連絡先・会場

- 【事務局】東北24研究会青森市議会世話人
 青森市議会議員 木戸 喜美男
 青森県青森市中央一丁目22-5
 TEL 017-734-5741
- 【会場】青森市役所
 青森県青森市中央一丁目22-5
 ワ・ラッセ
 青森県青森市安方1-1-1
 アウガ
 青森県青森市新町1-3-7

5 その他

行政調査旅費計算書

会派名 : 新政会
 参加議員 : 栗原 晃、良田 金次郎
 日程 : 令和2年1月31日(金)～2月1日(土)
 行先 : 青森市役所(青森県青森市中央一丁目22-5)

1月31日											
	郡山駅	新幹線 125.1	仙台駅	新幹線 361.9	新青森駅	奥羽本線 3.9	青森駅				
運賃	8,030										8,030
急行料金	9,240										9,240
席種	グリーン	グリーン									0
実費											0

2月1日											
	青森駅	JR奥羽本線 3.9	新青森駅	新幹線 361.9	仙台駅	新幹線 125.1	郡山駅				
運賃	8,030										8,030
急行料金	9,240										9,240
席種		グリーン	グリーン								0
実費											0

交通費	34,540		34,540
日当	3,000 ×	2日 =	6,000
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計			55,340 円 × 2名 = 110,680 円

令和元年12月10日

東北24研究会世話人各位

東北24研究会青森市議会世話人

青森市議会議員 木戸 喜美男

東北24研究会令和元年度第1回研修会の開催について

拝啓 寒さが厳しさを増していますが、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

台風等の大規模災害により被害に見舞われました自治体の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、各自自治体からの要請により、今研修会は防災を中心テーマとして、下記要綱にて東北24研究会令和元年度第1回研修会を開催します。

1. 日 時 令和2年1月31日(金) 13時30分～
2月 1日(土) 12時まで

2. 場 所 青森市議会委員会室 など(調整中)

3. 参加者 東北24研究会会員、青森市等

4. 実施概要

【1月31日(金)】

1) 世話人の打ち合わせ 13時～

2) 研修会次第 13時30分～15時20分

(1) 歓迎挨拶

小野寺 晃彦 青森市長 長谷川 省悦 青森市議会議長挨拶

(2) 内容

①国の防災減災対策について 国土交通省東北地方整備局(予定)

②台風19号等の災害について
被害状況、現状報告及び今後の対応について

③各地域の特徴的な災害について
青森市における雪害対策について (都市整備部) 15分位
(雪による被害状況及び雪対策)

(3) 意見交換会

5. 施設見学 15時30分～16時30分 雪処理施設の見学

6. 意見交換会 18時～20時頃 (場所 未定)

【2月1日(土)】

9～12時 行政視察(青森市中心市街地活性化事業の現在) ※希望者のみ
ワラッセ、駅前庁舎(アウガ)

7. 管理事項

(1) 参加費 : 2千円

(2) 移動宿泊 : 各自でご予約

(3) 懇談会 : 会費5,000円程度で予定

東北連携中核市議会議員24研究会 研修会 青森大会

1. 開会
2. 主催者挨拶
 - ・代表世話人 仙台市議会議員 菊地 崇良 たかよし 崇良
 - ・地元世話人挨拶 青森市議会議員 木戸 喜美男 きみお 喜美男
3. 来賓あいさつ
 - ・小野寺 晃彦 青森市長 おのでら 晃彦
 - ・長谷川 章悦 青森市議会議員 はせがわ 章悦
4. 研修会 (13時45分～)
 - 1) 国の防災減災対策について 13時45分～14時15分
国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 防災課 課長 澤田 敏樹 さわだ としき
 - 2) 台風19号等の災害について 14時15分～14時45分
被害状況、現状報告及び今後の対応について 各自治体からの報告
 - 3) 青森市における雪害対策について
青森市都市整備部 道路維持課 雪対策室 室長 小田 一彦 おだ かずひこ
5. 意見交換会
6. 施設見学 (16時～) 15時30分
 - 1) 青森港本港地区浜町緑地
 - 2) 積雪・融雪処理槽 (八重田浄化センター)
7. 研修会終了
8. 懇親会

【2月1日(土)】 行政視察予定
9～12時 青森市中心市街地視察
駅前庁舎、ワラッセ等視察

東北24研究会 青森大会・参加者名簿

市	氏名		市	氏名	
仙台市	 きくち たかよし 菊地 崇良	代表世話人	青森市	 きど きみお 木戸 喜美男	世話人
	 かとう けんいち 加藤 けんいち	代表世話人 補佐		 やまもと たけとも 山本 武朝	
秋田市	 いたう かずえい 伊藤 一榮	世話人	 たけやま よしとら 竹山 美虎		
	 かわくち まさたけ 川口 雅丈		 たてやま よしよし 館山 善也		
郡山市	 さとう ていいち 佐藤 徹哉	世話人	 ふじた まこと 藤田 誠	世話人 補佐	
	 かわまえ みつのり 川前 光徳		 えびな かずこ 蛸名 和子		
	 くりはら あきら 栗原 晃		 やまわき さとし 山脇 管		
	 よしだ きんじろう 良田 金次郎				

盛岡市、山形市、福島市は議会日程のため欠席です。
いわき市

東北24研究会 令和元年度第1回 研修会資料

- ①国の防災減災対策について
- ②台風19号等の災害について

東北地方整備局
青森河川国道事務所 防災課

河川における防災減災対策

- 洪水浸水想定区域
- 水害ハザードマップ
- 浸水実績等の把握・周知制度の創設
- 要配慮者施設の避難確保対策
- 大規模氾濫減災協議会制度
- 河川における権限代行制度の概要

雪害対策について (青森市における雪対策について)

はじめに

青森市は人口約30万人規模の都市としては国内外でも有数の豪雪都市であり、雪による障害を乗り越え、冬をいかに楽しく、快適に過ごすかは永遠の命題となっています。(青森市市民とともに進める雪処理に関する条例抜粋)

この命題を克服し、冬期において市民の生活の豊かさと活力を呼び起こし、降雪期の市街地における利便性を確保するため、市、市民、事業者のパートナーシップによる総合的な雪対策に取り組んでいます。

➤青森市の紹介	3
➤降雪・積雪状況	4
➤雪対策の位置づけ	6
➤雪対策基本計画	7
➤除排雪事業	8
➤流・融雪溝等	12
➤融雪歩道	13
➤市民雪寄せ場	14
➤自主的な除排雪	15
➤高齢者等への支援	16

◇浜町緑地雪処理施設について◇

《現状・経緯》

除排雪事業においては、集中した降雪があった場合など、海に投雪せざるを得ない状況となっており、雪に混じって投棄されるゴミや泥等による海洋汚染等が懸念されることから、青森港本港地区緑地（浜町）の水域を冬期間利用し、雪処理のための施設を設置運用することにより、これら懸念に対応することにした。

平成14年度から国、県、市において「青森港本港地区緑地（浜町）の利活用に関する確認書」に基づき協議を続け、各道路管理者（当該施設利用者）による協議会を設立し、協議会において当該施設の管理運営を行うこととなり、平成29年12月1日から供用開始した。

《管理運営》

(1) 緑地の管理

港湾施設として港湾管理者（青森県）が管理する。

(2) 雪処理施設の管理

実際に道路管理のための投雪を行う国、県、市の道路管理者により、投雪量の割合に応じ、管理運営費用を負担し、協議会において管理運営を行う。

《協議会事務局》

全投雪量の6割近くを占める青森市が協議会の事務局を担う。

《管理運営費》

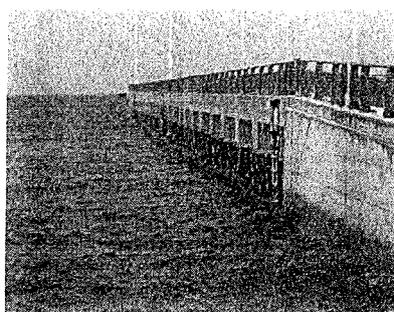
令和元年度の管理運営費は、ごみ流出防止網設置撤去や施設内の除雪費用など16,470千円を見込んでいる。

	国	県	市
令和元年度の負担割合	19.4%	22.8%	57.8%
	(3,195千円)	(3,755千円)	(9,520千円)

(負担割合はH26～H30利用実績の平均値とするが、3月末時点の実績によりに精算する)



【青森港本港地区緑地（浜町）】



【ごみ流出防止網設置状況】



【雪処理施設利用状況】

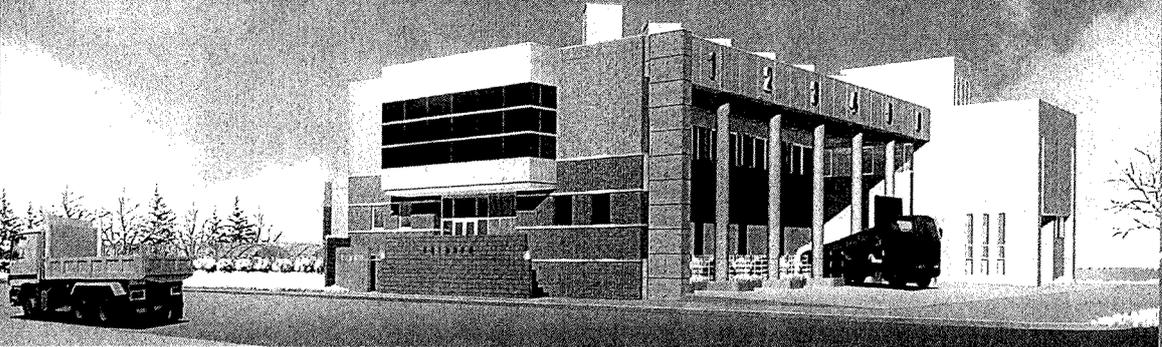
※参考（青森県より）

青森港港湾環境整備事業

- ・全体事業費 26.4億円（負担内訳：国交付金13.2億円、県9億円、市4.2億円）
- ・事業期間 平成14年度から平成28年度
- ・計画地全体面積 2.83ha（施設面積 1.40ha、雪投入口面積（水面） 1.43ha）

積雪・融雪処理槽

きれいな・豊かな陸奥湾を次世代へ
平成16年1月から運転開始。



- 冬季「積雪・融雪処理槽」⇒ 処理水を利用した排雪の融雪と混入ゴミ・土砂等の回収
- 夏季「雨水貯留槽」 ⇒ 降雨の際の初期雨水を一時貯留
- 積雪・融雪処理槽及び雨水貯留槽の切替使用により、陸奥湾の環境保全に寄与。

1

積雪・融雪処理槽

陸奥湾への投雪状況



2

青森市のまちづくり

青森市の概要

基礎情報 青森市 (R2.1.1現在)	
人口 (人)	281,232人
世帯数	136,888世帯
面積 (k㎡)	824.54K㎡
東経	140.45
北緯	40.49

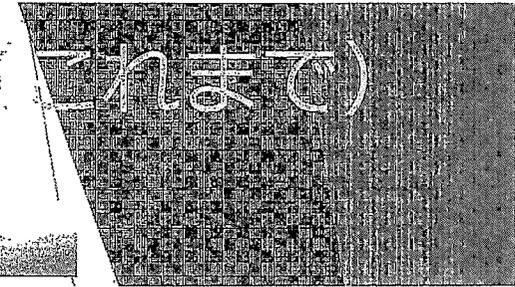
緯度は、ローマやNYと同経緯

青森市のまちづくりの懸念材料

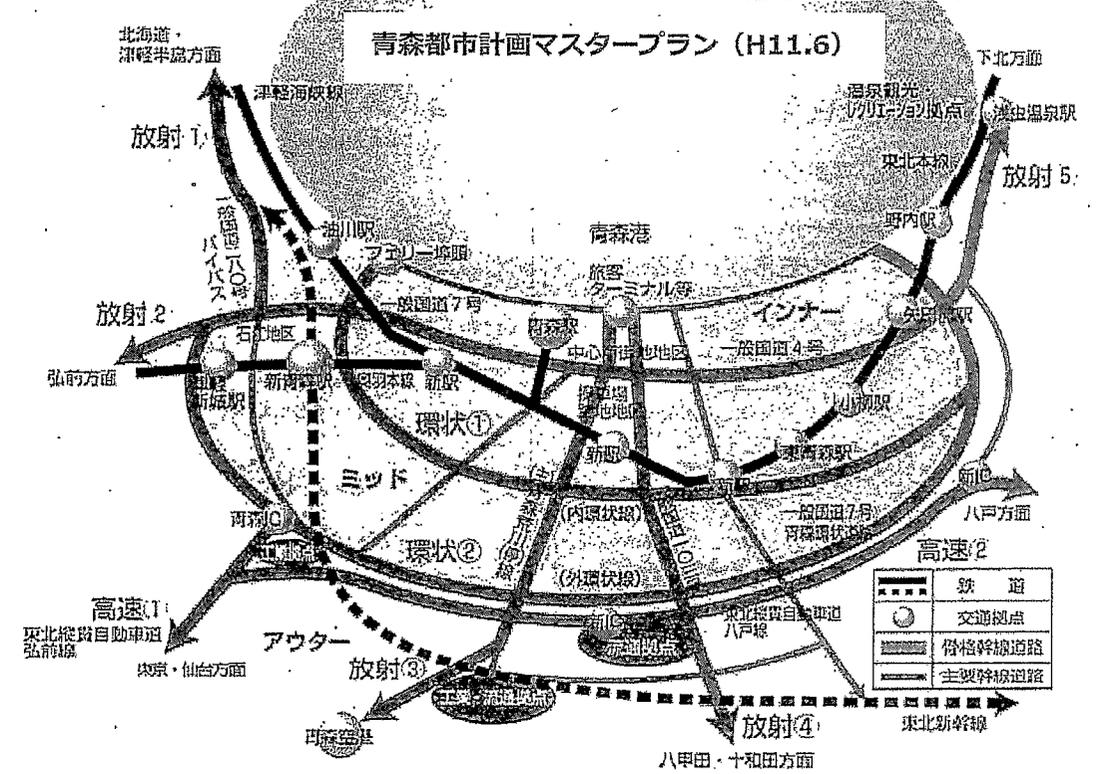
市街地の拡大に伴い、除排雪経費が増加

平成23年度	青森市	旭川市	札幌市	秋田市	山形市	新潟市	富山市
積算降雪量(cm)	761	559	399	315	414	304	404
最深積雪 (cm)	152	94	76	48	97	48	95

- ・ 県庁所在地では唯一の特別豪雪地帯
- ・ 除排雪経費は平均で20億円程度 (一般会計の2%弱)
- ⇒ 平成23年度の除排雪経費は約34億5千万円 (平成24年度は約46億円)



都市づくりの基本理念 コンパクト・シティの形成



- 都市づくりの方向を市街地の内側に向ける、機能的で効率的な都市構造
- 都市を3つに区分し、地域特性に応じた都市整備推進

青森市議会議員

木戸喜美男

きみお



〒038-0042
 青森市大字新城字福田7-1
 電話 017-788-3426
 携帯 [REDACTED]

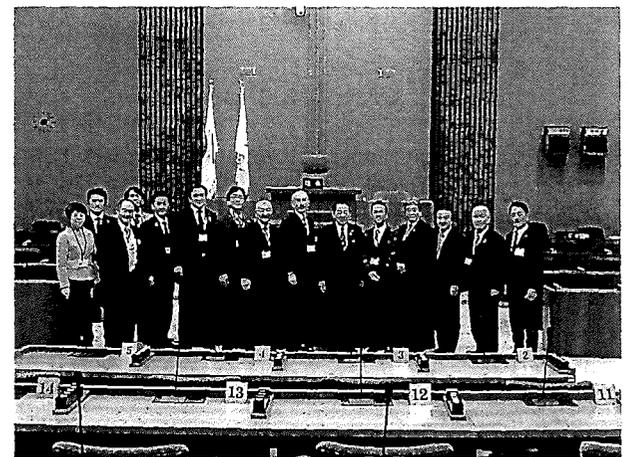
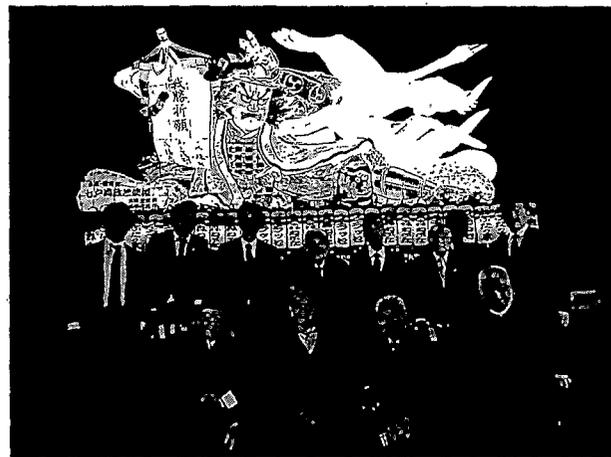
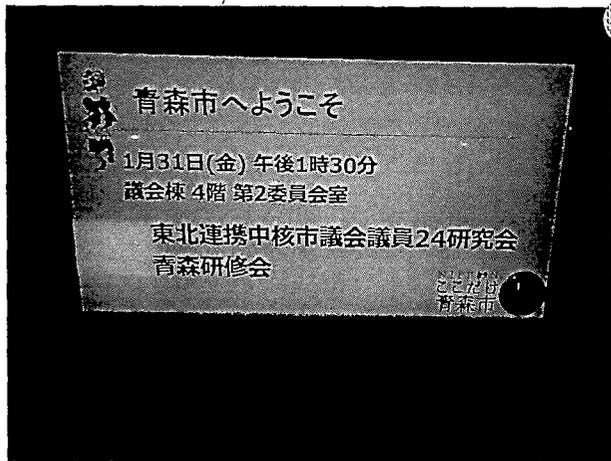



NIPPON
 ここだけ
 青森市
 the one, the only
 Aomori City

青森市議会 副議長

藤田 誠

〒030-8555 青森市中央一丁目22番5号
 直通電話 [REDACTED]
 携帯電話 [REDACTED]





東北連携中核市議会議員 24 研究会

R2. 1月31～2月1

令和元年度第一回研修会

報告者 栗原 晃

場所：青森市議会 議事堂第1・2委員会室

平成23年、東日本大震災の年に初当選をした東北地方の中核市の市議会議員で構成されている東北24研究会の研修会が当番の青森市で開催された。議会日程のため、盛岡市、山形市、福島市、いわき市は欠席となりましたが、仙台市、秋田市、青森市、郡山市の同期議員の15人が参加した。初めに、小野寺晃彦 青森市長と青森市議会副議長の挨拶、地元世話人の木戸議員の挨拶のあと研修会が始まった。

1、「国の防災減災対策について」と題して、青森河川国道事務所 防災課長 澤田敏樹氏による講演があり、洪水予報河川・水位周知河川に関する制度概要、洪水浸水想定区域の指定状況、洪水ハザードマップの改定、浸水実績等の把握・周知制度の創設、要配慮者施設の避難確保対策、大規模氾濫減災協議会制度、河川における権限代行制の制度概要などについてそれぞれ講演があった。

2、「台風19号等の災害について」と題し被害状況、現状報告及び今後の対策について各自治体からの報告があった。被害を受けた仙台市からは菊池崇良議員が、郡山市からは佐藤徹哉議員が報告を行った。

3、「青森市における雪害対策について」と題し青森市都市整備部道路維持課雪対策室室長 小田 一彦氏が講演を行った。

4、意見交換会の後、積雪・融雪処理槽の施設見学を行う予定だったが今年は青森市も積雪がないため見学は中止になった。

今回の研修会は欠席した自治体議員もあり残念な思いがありますが、今後は開催時期を十分に意見交換して開催してほしいと感じました。次回当番は秋田市議会に決まりました。青森市内にこの時期積雪が全くないのは初めてとのことでしたが、毎年除雪費用は25億～30億計上しているようで、その余った予算はどのように処理するのか意見交換のなかで質問がありました。当局では基金を創設しそこにプールしておくとのことでした。それぞれの中核市の同期議員といろいろな意見交換ができ大変有意義な研修会であった。

二日目は「青森市のまちづくりと青森駅周辺の活性化」について研修をした。

「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくりをコンセプトに青森駅周辺の活性化を目指している。青森駅自由通路・市役所駅前庁舎・青森商工会議所会館のリニューアル・新町1丁目市街地再開発・新しいホテルの進出・新聞社新社屋・青森市役所の新市庁舎の完成などコンパクトシティーの形成を目指している。当日は駅前にある青森市文化観光交流施設「ねぶたの家 ワ・ラッセ」を見学した。